

令和元年度

第3回草津市情報化推進計画策定委員会 会議録

■日時：

令和元年12月17日（火）14時00分～15時20分

■場所：

市役所 行政委員会室

■出席委員：

西原委員、萩原委員、宇野委員、小郷原委員、小野委員、櫻井委員、中西委員、山本委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

岡野部長、金森副部長、今江課長、奥村参事、横江課長補佐、本射

■傍聴者：

5名

1. 開会

- ・委員数8名全員の出席を確認。審議会が成立していることを確認。
- ・前回の会議録の確認。修正等がないことを確認。

2. 議事

(1) 草津市情報化推進計画（素案）について

【事務局】

<資料1、2について説明>

1章から3章までの表現の統一、見直し、基本理念の変更。

【委員】

変更等について、意見はなし。

【事務局】

<資料1、2について説明>
4章以降の説明。

【委員】

- ・データ利活用の部分が下の重点施策を受けているのか？
- ・システム構築における民間サービスの利用の部分が重点施策を受けていると思うが、民間サービスの利用ではなく、ICT人材の育成を受けているのではないのか？
- ・重点施策3-2標準パッケージシステムの利用について定義等はあるのか？
- ・基本方針3の文言、「行政運営の効率化を図ります。」について、下段と記述が重複していると思う。

【事務局】

- ・基本方針3については、文言等の見直しをさせていただく。
- ・標準パッケージシステムについては、本市の基幹システムも標準パッケージシステムを利用している。独自開発のシステムではなく、標準で取り扱われるシステムを活用しながら業務の標準化を図っていく事を考えている。

【委員】

- ・全体的に抽象的な表現が多い印象がある。
- ・防災については、必要ないのか？

【事務局】

- ・抽象的な表現については、方向性を示す要素が強いものであるので、このような表現になっている。

【副委員長】

- ・防災については、アクションプランの中で進めていってもらえればと考える。

【委員】

- ・重点施策3-3について、市の中で専門的な知識を持った者はいるのか？

【事務局】

市の中ではいない。

【委員】

専門的な知識を持った人材、部署がないと、施策が進まない。外部に任せるということでは計画が進まないと思う。

【事務局】

人材の育成については、重要視している。今後は計画的に進めていかなければいけないと認識している。

【委員】

- ・地域活力の維持・発展において、アクションプランやK P Iを設定しにくい印象がある。
- ・業務の棚卸を行ってから、その時々々の先端技術を導入するのがいいのではないかと？

【事務局】

- ・地域に向けた取組みについては、地域と連携した取組がとれないか、I C T化ができないか検討している。
- ・アクションプランについては、並行して作成を始めている。来年度以降に草津市情報化推進懇話会（草津市情報化推進計画策定委員会の委員をベースに考えている）を設置して検討していこうと考えている。
- ・業務の見直しを行い、必要なものについてデジタル化を進めていこうと考えている。

【委員】

アクションプランについては、どのようなスケジュールになるのか。

【事務局】

- ・早くても、7月頃になると考えているが、詳細は現在検討している。
- ・事務局としても年度内に委員の皆様に関後の方向性を示すことができるものを提示できるよう検討していく。

【委員】

長期でデータを蓄積できるような指針は入れることはできないのか？

【事務局】

データの利活用については、目的が明確でないものをデータだけ収集することは難しい。

【副委員長】

E B P Mのことをどこかに記載していれば、データ収集のついてはできるのではない
か。

【事務局】

基本方針3に盛り込むことを検討していきたい。

【委員長】

今回の意見を元に修正事項もあるので、委員長預かりとして最終修正案をまとめてい
く。また、12月24日に委員会から市長に答申を行う。

3. その他

特になし。

4. 閉会

・岡野部長挨拶。

以上。